

早川 公二 議員 無会派

子どもたちが安心して遊べる公園管理を

問

(1) 旧弥富町の公園と十四山地区の公園では管理方法が異なるのはなぜか。

旧弥富町地区の公園は、外から見ても、園内から見ても、公園内全てを見通せるのに対し、十四山東公園、十四山西公園は、外からも内からも園内全てを見通せない状態である。

旧弥富町の公園は、毎年ほぼ全ての樹木を剪定しているのに対し、東公園、西公園を毎年交互に樹木の枝打ちをしているが全ての樹木の枝打ちはしていない。

今後の管理計画は、  
(2) 伐採計画は一度に全て、見通しがいいよう伐採する計画と理解していいか。  
(3) 公園管理を分けず、一本化する事で市内全体の公園が同じ状況になると考

えるが市の見解は。

(4) 高齢者が体に負荷をかけず健康的に運動できる遊具が近年、全国の公園で増加している。  
少子・高齢化に伴い、公園利用世代が子どもたちだけでなく、高齢者が多くなった日本を象徴するかのような高齢者向け遊具は、全国で増加していくと考えるが、本市の健康遊具を設置してある公園は何箇所か。

(5) 高齢者向け遊具は有効活用ができるメリットがあるが、今後、増設していく計画はあるか。  
(6) 三ツ又池公園に健康遊具を設置してはどうか。

地域と相談し視界を遮る樹木の伐採を考えていく

総務部長

(1) 木の本数自体、また高

木の数自体も非常に多いのが現状だが、今後計画的に大人の背丈程度の高さにし、見通しができるように枝打ちをしていきたい。

答 市長

(1) 十四山地区の居住者に聞いたところ、定かかどうかわからないが、当時の村長や国会議員から公園内の樹木は切るなという経緯が過去にあり、現在に至っていると思っている。  
しかし、利用者の安心・安全な場所であればならず安全が阻害されてはいけないので地域と相談し伐採をする方向で考えていきたい。

答 民生部長

(2) 一度は難しいので、計画的に枝打ちなども含め考えていきたい。  
(3) 新庁舎の完成段階で組織再編により専門部署を検討することを考える。

(4) 健康遊具設置の公園は、3箇所である。  
(5) 高齢者用遊具と子ども用遊具が混在することで子

どもが使うことにより安全性を危惧する。

答 市長

(5) 遊具の設置は、可能な箇所から増設していきたい。  
(6) 三ツ又池公園は、春の芝桜まつりだけでなく、ジョギング愛好家、散歩者もあり、健康遊具は共通性があると思っているので、場所や遊具の種類など検討する時間をいただきたい。

昨年、委員会で質問したカーブミラーの霜対策は

問

(1) 昨年の委員会でも質問したが、カーブミラーの霜対策の結果と今後の対策・計画は。

(2) 老朽化や損傷したカーブミラーを市職員が全て把握するのは、現実無理ではないか。  
どのように老朽化や霜対策をしていくのか。

検証の結果、新タイプのミラーに効果があつた

開発部長

(1) 今年度に入り、ミラーを新タイプに取り替える場合と既存のミラーに塗布し霜の発生を防ぐタイプで検証している。  
新タイプを設置した場合は、一定の効果があつた。  
一方、スプレー塗布は効果があつた。  
ミラーを新タイプに取り替えた場合、コストアップになるが、カーブミラーの新設、老朽化などの建て替えに合わせ順次取り換えていきたい。

(2) 市職員だけでは、確認することは難しく、市民の協力がないとできないと思っている。  
自分たちの生活、住む町の中をよくすることも、市民、地域の方の助け合うまちづくりの一環ではないかと捉え、コミュニティ活動などで交通安全に関する取り組みとしてカーブミラーの清掃作業のご協力をお願いしたい。